

九工大一天神に特急バス

通学便利に

西日本鉄道（福岡市）は、飯塚市川津の九州工業大情報工学部と福岡市・天神を結ぶ特急バスを今月から運行する。現在九州運輸局に認可申請中で、23日のスタートを目指す。これまで九工大周辺と天神を結ぶ直行バスはなかったが、平日で往復計5便を予定している。

九工大によると、情報工学部の学生約2300人のうち3割が福岡都市圏在住。多くがバスや電車を乗り継いで自宅から通



九州工業大情報工学部のキャンパス内で試験運転をする西鉄のバス

西鉄、23日の運行開始目指す

う。現在JR新飯塚駅とキャンパスを結ぶスクールバスが15〜40分間隔で走っているが、学生や職員しか利用できなかった。

天神発のバスは1、2限目の開始時刻に合わせ、午前7〜8時台に平日2便、土曜1便を運行する。21日から新名称になる「天神高速バスターミナル」（現西鉄天神バスセンター）を出発し、飯塚市の堀池や飯塚バスセンターなどを経由してキャンパス内に新たにできる停留所「九工大飯塚キャンパス」まで走る。

平日で往復5便 一般客も利用可

九工大発のバスは、学生の帰宅時間帯の午後5〜7時台に平日3便、土曜1便を運行する。日曜と祝日は運休する。

西鉄によると、昨年4月のダイヤ改正に伴い、九工大周辺と飯塚市中心部を結ぶ路線バスが減便。バスが生活の足となっていた高齢者を中心に増便を望む声が上がっていた。西鉄の担当者「学生の通学だけでなく、生活路線の確保にもつながる」としている。（中島早貴）